

チリメンモンスター探し 4 題

しらす干し(チリメンジャコ)に含まれているシラス以外の稚魚や幼生をチリメンモンスター(チリモン)と呼び、それを探す環境教育活動をチリメンモンスター探しと言います。今年度、当場は表に示す4回の活動に関わりました。

名称	主催	日時	場所	対象(人数)	スタッフ
静岡デスティネーションキャンペーン 伊豆青空マーケット	JR 東日本 (運営協力 美しい伊豆創造センター)	5月26日 11～13時	熱海駅ビル ラスカ熱海屋上	熱海を訪れた観光客 (77名)	サバソニ実行委員会 チリモン専門家(斎藤)
サバソニック&アジロックフェスティバル(サバソニ)	サバソニ実行委員会	6月2日 10時～16時30分	伊東オレンジビーチ	伊東市民、観光客 (105名)	伊東商業高校ボランティア チリモン専門家(斎藤、岡部)
伊東商業高校 碧陵祭	伊東商業高校野球部	6月8日 10時～13時30分	伊東商業高校	碧陵祭参加者 (39名)	伊東商業高校野球部
伊東市小学生 ふるさと教室	伊東市教育委員会	7月13日 9時～12時30分	伊東市宇佐美 留田会館	ふるさと教室 参加小学生 (40名)	夢チャレンジクラブ員 環境学習コーディネーター 山口氏

昨年と異なる今年の特徴は①自治体、地元関係者、JR、旅行会社による観光誘客キャンペーンである静岡デスティネーションキャンペーン(DC)への協力、②サバソニにボランティアとして参加した伊東商業高校野球部による自校文化祭での実施、③伊東市小学生ふるさと教室での好評から、来年度以降伊東市教育委員会がふるさと教室で主体的に取り組む気運が生まれたことです。

静岡DC伊豆青空マーケットで美しい伊豆創造センターが実施したアンケートによると、チリメンモンスター探しについては「楽しかった(ととてもまあまあを含む)」と回答されており、感想として、子供が興味を持った、色々な魚がいて面白い、ときめいた、手軽でよかったなどが挙げられてました。

サンプルは今年も“地産地消”を目指し地元伊東地区のシラス漁船から入手しましたが、足りなくなり、昨年の残りのサンプルも使用しました。サンプルの入手が今後の課題と言えます。ちなみに、伊東地区では、一隻曳3ヶ続が操業しており、生シラスとしての伊東市場への水揚以外は自らの加工場兼販売所で漁獲～加工～販売までの6次産業化を実践しています。農林統計では平成25～29年の平均で約11トン(7～17トン)の漁獲があります。(長谷川雅俊)